



海に入る場合は、セーフシーを全身に塗って下さい。



①

セーフシーのキャップを外し、そのまま体にそって、手のひらに取ってすり合わせ体に塗る。それを繰り返すとムラになりやすいのです。正しい塗り方は、ボトル(またはチューブ)を絞りながら、体にそってセーフシーの白い線を作ります。そこから、手のひらで体によくなじませて下さい。

②

具体的には・・・

左右の腕には白い線1本ずつ、お腹には2本、脚にも2本ずつ・・・。

体の大きさにも異なりますが、それぞれの部位に線をつくってから、全体になじませます。

ボトル、チューブ共にローションタイプですが、チューブの方が若干粘度があります。

多めに取った方が良いでしょう。



③

ここが忘れがち!

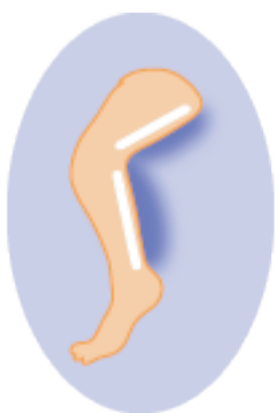
セーフシーはクラゲに刺されない効果だけでなく、日焼け止め効果も含まれています。

全身くまなく塗って下さい。忘れがちな部位は・・・?

膝の裏、太ももの裏側、脇、二の腕の裏側、体の側面、手の甲、足の甲、鼻の脇、髪の毛の生え際、耳等忘れずにしっかり塗って下さい。

また背中など自分で塗れない部位は、他人に塗ってもらいましょう。

液体の色は白いので、透明になるまで擦り込みましょう。



④

塗ったら10分間乾かす。

すぐに海に入ってはいけません。全身に塗ったら、約10分間乾かします。

日なたに出る必要はありません。ひかげも充分です。

⑤

再び海に入る場合

一度海から上がり、再び海に入る場合もセーフシーを①～④の順番で塗りなおして下さい。